

Green

グリーン

SAGAMIHARA KYODO HOSPITAL

VOL.
12

2026

+ 特集 — ● 消化器内科の紹介





院長が解説

消化器内科を専門とする私が、
当院の医療を、
詳しくご紹介します。

消化器内科のご紹介

高度な専門治療と安心の連携体制

当院の消化器内科は、食道・胃・大腸などの消化管疾患から、肝臓、胆のう、膵臓といった重要臓器の疾患、そして糖尿病まで、消化器病全般の診断と治療を専門的に行っています。

緊急事態に迅速対応！ 24時間体制

消化管出血（吐下血）など、一刻を争う緊急性の高い患者さんに対し、当科は24時間365日対応可能な体制を整備。緊急の治療内視鏡を積極的に行い、ご紹介いただいた患者さんへ迅速な対応をお約束します。

「お腹を切らない」体に優しい最先端治療

早期の食道・胃・大腸がんに対しては、お腹を切らずに病変を一括切除する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を積極的に施行しています。さらに、高度なERCP関連治療（胆管結石除去や胆道ドレナージなど）を多数実施しており、専門性の高い治療を地域に提供しています。その他、C型肝炎への最新抗ウイルス療法にも注力しています。

密な連携による総合医療

外科と密接に連携し、診断から治療までを総合的に提供する「消化器病センター」として機能しています。また、放射線科や腎臓内科とも連携し、重症膵炎などの難治性疾患にも対応可能です。地域の皆様の健康を、チーム一丸となって全力でサポートいたします。



こんな症状はありませんか？



上部消化管疾患

(食道・胃・十二指腸)

✓ 症状のチェック

胸やけ、胃痛、胃もたれ、飲み込みにくい、吐き気、黒い便はありませんか？

主な対象疾患・診療内容

胃癌、食道癌、GIST、胃・十二指腸潰瘍、ヘリコバクターピロリ胃炎、逆流性食道炎、機能性ディスペプシア など

下部消化管疾患

✓ 症状のチェック

血便、便秘・下痢が続く、腹痛、お腹の張りはありませんか？

主な対象疾患・診療内容

大腸癌、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎、結腸憩室炎・出血、虚血性腸炎、過敏性大腸症候群 など

肝臓疾患

✓ 症状のチェック

体がだるい、食欲不振、黄疸（皮膚や目が黄色い）、腹部の張りはありませんか？

主な対象疾患・診療内容

急性肝炎、慢性肝炎、非アルコール性脂肪肝、アルコール性肝疾患、肝硬変、肝臓癌、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎 など

胆膵疾患

✓ 症状のチェック

背中や上腹部の激痛、黄疸（皮膚や目が黄色い）、発熱、腹部の張りはありませんか？

主な対象疾患・診療内容

胆のう結石、総胆管結石、胆管炎、胆嚢炎、急性・慢性膵炎、膵癌、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵腫瘍、胆のう癌、胆管癌、自己免疫性膵炎 など

気になる症状があれば、

放置せず専門的な検査を受けましょう。



check!



ご覧ください

消化器内科のページは
こちらから





大盛況! /

第22回 健康まつり2025



2025年11月3日(祝・月)に「第22回相模原協同病院健康まつり2025」を開催しました。当日は晴天にも恵まれ、約3000人もの方々にご来場いただき大盛況でした。



昨年に続き「地域とのコラボレーション」をコンセプトに、地元の企業やお店の皆さまと一緒にイベントを盛り上げました。当日は、地域の人気キッチンカーや賑やかな屋外イベントに加え、普段見ることのできない当院のドクターカー展示も行われ、来場者の関心を集めていました。

院内では、職員による健康チェックや相談ブースが賑わい、職業体験コースでは、お子様たちが医療に触れる貴重な機会となりました。また、心安らぐコンサートが開催されるなど、病院全体が笑顔で溢れる一日となりました。

今後も全職員が心をひとつにして地域住民の皆さまの信頼と期待に応えて安全・安心な医療を提供してまいりますので、よろしくお願いいたします。



▲ 健康まつり屋外ブース



▲ ドクターカー展示



▲ 職業体験の様子



世界糖尿病デー in 相模原協同病院 2025

今年は健康まつりと同時開催で、11月3日に「世界糖尿病デー」イベントを開催しました。当院の糖尿病ケアチームが、一般の方向けに無料イベントを実施。血糖測定や専門職による療養相談、体操を行いました。

参加者の皆様の真剣な姿に関心の高さが伺えました。また、期間限定でシンボルツリーを糖尿病制圧のシンボルカラーである青色にライトアップし、啓発を呼びかけました。本イベントが、生活習慣を見直すきっかけとなれば幸いです。



院内保育所 ハロウィンイベント開催！



可愛らしい仮装をした園児たちが「トリック・オア・トリート！」と元気いっぱいに登場しました。職員がお菓子を配ると、みんなニッコリと嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

病院全体が、子どもたちの笑顔と活気で溢れた、心温まる一日となりました。

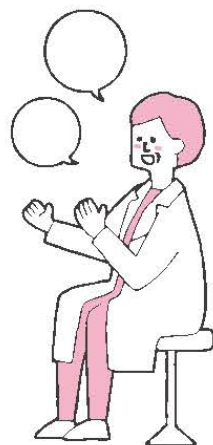


高度な技術を学ぶ！ワークショップ開催

2025年10月31日（金）、昨年に引き続き、小倉記念病院循環器内科の曾我芳光医師をお招きし、ワークショップを開催いたしました。

参加した当院医師たちの技術向上に繋がる大変貴重な機会となりました。





Title

中年の危機

数年前、アーティストの福山雅治さんがラジオ番組で「自分も50歳になりました。50歳は中年じゃなくて初老です。」みたいな話をしていた記憶があります。

おお、自ら初老と言ったなど。それにひきかえ、歳を聞かれるといつも「非公開」とか逃げている自分が恥ずかしいです。

ミッドライフクライシスあるいは中年の危機というのを聞いたことはあるでしょうか？
じつはたいがいのひとが中年以降、人生の折り返し地点に差し掛かると「あれ？」っと戸惑うらしいです。

国の調査によれば、生活の質に対する満足度は40歳から64歳においては低めに出るそうです。いい歳をしたオジサンオバサンがみんな立ち止まって悩んでいる姿ってちょっとおかしいですね。「四十にして惑わず」じゃなかったっけ？

私の場合、40代で「自分は本当にこんな風に生きたかったのだろうか？」と考え始めてから十数年。このまま惰性で生きて死んでは勿体ないと焦ってはみたものの、ドカーンとブレイクスルーが来るわけでもなく、未だに迷走中です。

でも最近、不満を埋めるための正解を探しに行っても、答えは見つからないことに気がきました。その代わりに、自分の内側から湧いてくる大したことのない希望・願望・欲望を丁寧に拾ってあげると、安心感が得られるみたいなのです。

自分が安心すると、外の世界で例えばイヤな行いを平然とする人を見ても、一旦は「許せん！」とはなるのですが、「いやこの人は同じ人間と思えばムカつくが、実は生まれつきそういう生態の生き物なのでは」と思えば案外平気というか、むしろ自分のほうが「お魚が空を飛べないことに怒っているアホ」のように思えてきて笑えます。何より怒らなくていいのはすごくお得なことです。

そんなわけで、現在は自分を細かく満たすことによって生きるのが楽になるのではないかという、「ご自愛最強説」を採用しています。

ちょっと着地点が見えたような、見えないような。しかしこれ、いつまで続くんでしょうね。

文：橋爪正明（緩和ケア科診療部長）

04 脳トレチャレンジ

ぐるぐるしりとり

例題のように、右回りに読んで、しりとりを完成させましょう。①～③にあてはまるひらがなを、【選択肢】から選んでください。

例題

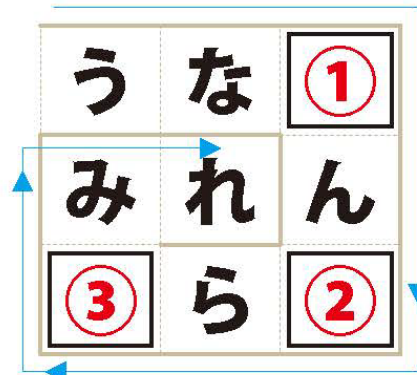


選択肢 ね あ き と み よ

答え ②ね あ ①き と ③み よ

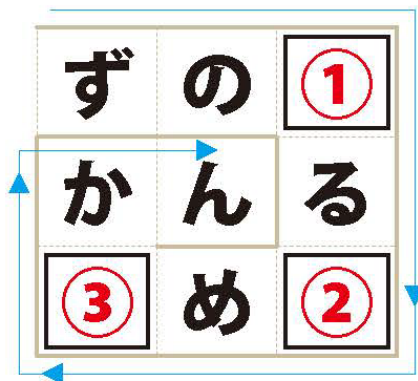
つみき → きつね → ねずみ → みかん となる

問 1



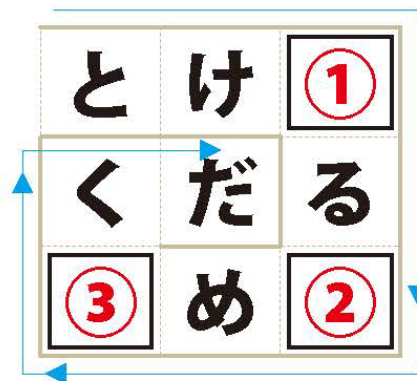
選択肢 け ぎ が つ ほ す

問 2



選択肢 は ま し じ う け

問 3



選択肢 か い も う ら せ

05 お知らせ

Instagram開設！ 病院の日常をお届け

このたび、当院は公式 SNS アカウントの運用を本格的に開始いたしました。従来の LINE、X (旧 Twitter) に加え、新たに Instagram (インスタグラム) を開設し、3つのプラットフォームで多角的に情報を発信してまいります。イベントの様子や、医療に関する身近な情報、そして病院の日常を写真や動画でお届けします。

ぜひ、各 SNS をフォローいただき、当院の最新情報をチェックしてください！

CHECK!



P.6 めるぐるしりと(解答)

あはくさ ← さあさ ← ああさ ← いあさ ← いあさ

あ ⑤ さ ⑤ さ ⑤ い ① あ ② ③

ああさ ← ああさ ← ああさ ← ああさ ← ああさ

あ ① さ ① あ ① あ ① あ ① ②

ああさ ← ああさ ← ああさ ← ああさ ← ああさ

あ ⑤ さ ⑤ さ ⑤ あ ① あ ① あ ① ①



神奈川県厚生農業協同組合連合会

相模原協同病院

〒252-5188

神奈川県相模原市緑区橋本台 4-3-1

TEL 042-761-6020 (代)

FAX 042-713-3525

HP www.sagamiharahp.com

HP



YouTube



LINE



X



Green グリーン 2025 **VOL.12**
SAGAMIHARA KYODO HOSPITAL

相模原協同病院と地域をつなぐコミュニケーションペーパー